



飛騨っ子

令和3年6月30日 発行 NO3
飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職：水口 悟
TEL：0577-33-1111 (内線 235)
E-mail：mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp



コロナ禍でも、がんばっています！

1 チーム力を活かす（6月22日（火）下呂市子育て支援拠点事業 担当者会議）



○参加者 子育て支援センター職員(3), 子育てステーション職員(4), 児童館職員(3), 行政担当課(2)

○テーマ 乳幼児期のめざす子どもの姿と子育ての姿を明快にする

下呂市は大変広域な地域ですが、定期的に子育て関係施設職員が集まり、情報交流を行っています。昨年度末には、関係者職員自ら「より質の高い子育て支援に向け、これまでの定例会を見直そう！」と積極的な思いが沸き上がり、テーマに基づいたワークショップが開催されました。

会議後の「これまで参加したどのワークショップ研修よりも、楽しかった！」という言葉通り、熱意と笑いに満ち溢れた意見交流がとても印象的でした。

今年度春からは「生活習慣・食事・体験・心」の4つを重点とした取組が始まりました。コロナ禍、まだまだ一つ一つの取組を開催すること自体に悩む毎日ですが、「待ち望んでいる保護者のために！」と互いに知恵を絞り、前へ踏み出そうとしています。毎月の子育て支援拠点担当者会議は、下呂市の子育て支援の大きな原動力になっています。



2 オンラインを活かす（講演会型＋在宅取組型家庭教育学級 基本的な生活習慣）



○期 日 6月9日（水）午後7時～8時

○場 所 白川郷学園・各家庭・南部地区文化会館（NBK）

○演 題 睡眠と食事について（岐阜大学 助教 岡本名珠子氏）

白川郷学園の家庭教育学級の年間計画には、学校行事等と上手く関連付けながら、5つの型の学級が位置付けられています。今回は、昨年度の実践の成果から ICT 環境を活かした地域ぐるみ（保育園・学園・地域関係者）の家庭教育学級を開催しました。

PTA役員の方々が中心となり学園から配信された講師のお話を、各家庭や NBK にて親子また地域の皆さんがともに視聴をしました。コロナ禍でも、オンラインで地域がつながる環境が楽しい！さらに、実践カード（約束づくり・親子の会話・カードに記録）を通して、親子がつながる姿がすばらしい！



3 青空サロン in 高山市一之宮町（6月1日（火） 子育てサロン型 命の大切さ）



○高山市一之宮町乳幼児学級（ネバーランド）

久しぶりの青空。気分爽快。太陽の光をたっぷり受けて、スクスク育っている菜園のジャガイモ。濃い緑色の葉っぱを見ていると、生命力を感じます。勢いを感じます。

今年度から、JAひだ助けあい組織「山びこの会」宮支部とのコラボ企画「自然ふれあいプロジェクト」と題し「わいわい農園」を開園しました。

「農園とする畑は、地域の方のご厚意により提供していただきました。また、野菜作りのご指導などもしていただいています。この活動を通して子どもたちが本当に地域の方々に見守られ大切にされていると感じます！」と、担当者の方が話されました。コロナ禍により本来は親子で苗を植える活動もかなわず、この日はスタッフの方々が植えた苗の成長を参加者限定で見学に出かけました。

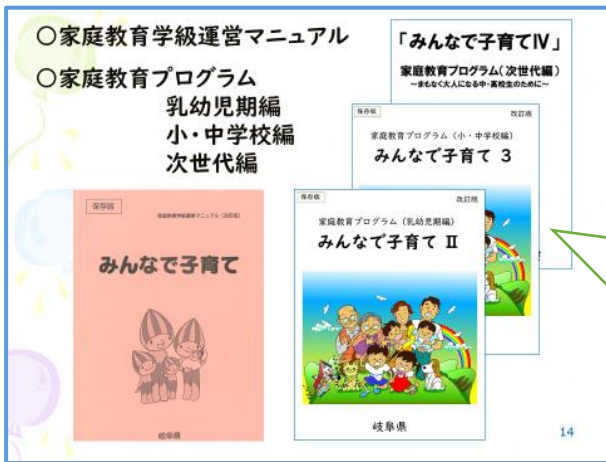
やっぱり外の空気は気持ちがいい！ マスク越しに気遣いながらの会話も楽しい！ 今は、親子共々コロナ禍を忘れる一時がとても大切です。大きなジャガイモの収穫が楽しみです！！

4 子育て支援情報

改訂版「みんなで子育て3（小・中学校編）」と「話そう！語ろう！わが家の約束」運動のリーフレットを配布いたしました。是非とも有効活用してください！！

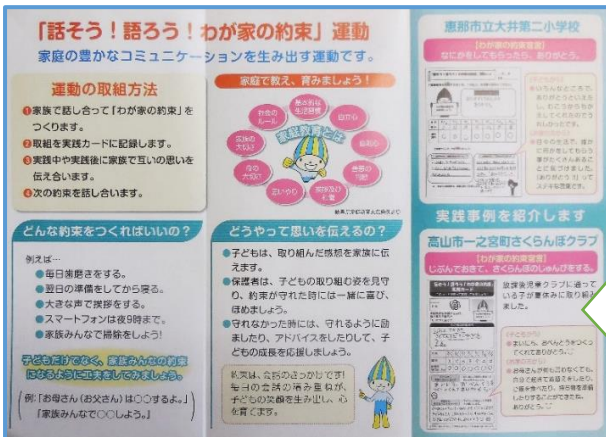
県のHPから、ダウンロードできます。（7月上旬）

岐阜県 家庭教育 検索



みんなで子育て3 改訂版 家庭教育プログラム（小・中学校編） 各小・中・義務教育学校へ2冊

- ・冊子にある資料のみを活用することもできます。
- ・保護者に回覧し、読み物資料として活用することもできます。



「話そう！語ろう！わが家の約束」運動のリーフレット（= 在宅取組型 i ①約束づくり ②親子の会話 ③カードに記録）

各園の年長、小学校1・4年生の児童へ配布

- ・高山市一之宮町さくらんぼクラブ（放課後児童クラブ）の実践が紹介されています。

飛騨地区(3市1村)家庭教育学級リーダー等研修会 研修資料アンケートより 2

(現場の声はすばらしい・・・改善の声あり,継続の声あり,決意の声あり・・・)

Q5 あなたの所属で行われている家庭教育学級について、お気づきの点があればお書きください。どんなことでも結構です。



コロナ禍において、自宅で過ごす時間が増え我慢することが多い中だからこそ、子どもの生活習慣の乱れは気になります。本校でも親子学習などを設定し、家庭と学校が課題を共通理解し、取組を強化していきます。
(小学校職員)

歯磨きカレンダーや睡眠調査を継続して実施していくことで、意識付けなどの効果が高まると思います。また、コロナ禍における家庭教育の重要性を感じております。
(保護者)

来館される保護者の方々の子育ての話や悩みに傾聴し寄り添うよう日々心掛けています。今後も家庭教育学級のひとつの場として、保護者の方々に安心して過ごしてもらえよう努めていきたいと思えます。
(子育て支援関係団体)



子育て四訓, すてきですね。
家庭教育や子どもとの関係についてよく考える機会になりました。(中学校保護者)

コロナ禍で、PTA ふれあい委員会の活動を大きく変えました。親子の対話を増やせるように「話そう!語ろう!わが家の約束」運動の取組を活用する予定です。他校の実践例は、とても参考になりました。
(小学校教職員)



コロナ禍、様々な活動が延期や中止になる中で、家族を核・柱とした在宅取組ならば、少ない制限で実施することができ効果も望めると思った。本校なりの方法を見出していきたい。

(小学校教職員)

コロナ禍で、給食試食会が中止になりましたが、研修資料を見て「在宅取組型」の例がとてもステキだと思いました。
(保護者)

コロナ禍の状況の中で、たくさんの方が集まって何かをすることが難しいですが、家庭教育学級の取組は、自分が意識していなかっただけで、これまでに取り組んだことが含まれていたんだと認識することができた。今、この時しかできない子どもと向き合えることをこれからも取り組みたいと思った。
(小学校保護者)



支援センターと併設されている園では、生活リズムカードを配布しています。家庭で、子どもと楽しく約束が守れたらシールを貼るなどの取組を行っていますが大変好評です。親子の意識が高まるので、「在宅取組型」の家庭教育支援はとてもいい取組だと感じました。参考にしたいと思えました。
(子育て支援関係団体)

忙しい保護者が増える中,なるべく負担のないように計画・実施することは大変なことではありますが,親子の触れ合いや生活習慣の見直しのきっかけになるような内容を考えて実施してくださっています。忙しい中でも「やってみよう」「やって良かった」と思って頂ける内容を役員の方と一緒に考えていければと思います。(保育園職員)

勉強させていただいたことを活かし,子どもにとっても保護者にとっても,すてきな,よりよく成長できるような「在宅取組型」が実施できるように楽しくがんばります。ありがとうございました。(保護者)



「朝のスタートプラン」は,基本的な生活習慣を身に付けるだけでなく,丁寧に色塗りをし褒められたり意欲的に取り組んだり,今日はどうだったかななどを親子で話し合いコミュニケーションがとれる大切なものだと,改めて思いました。楽しく親子一緒に取り組んでもらえるような声かけをしていきたいと思いました。(保育園職員)

今年度も,コロナの影響で5月からのカフェ活動は延期や中止となり,残念ながらまだ開催できていません。私たちの行っているママさんたちのつながりを作る活動は,在宅取組型だとどんなふうに見えるのか,今までとは違うアプローチを考えてみないといけないなあと思いました。(家庭教育支援チーム)



PTA主体で行う家庭教育学級の中でも,スマホ・SNS利用に関する取組について積極的にやりたいと話される保護者が目立ちました。家庭内のルールづくりやルールを守らせることに,困難さを感じている人が少なからずいるのではないかと感じています。(中学校職員)

睡眠時間の大切さなど,眠育ファイルがとてもよい。飛騨っ子のレシピも作ってみようと思う。(中学校保護者)



コロナ禍の中で,これまでの家庭教育学級の運営方法が通じなくなり,戸惑っていた保護者の皆さんが多くいらっしゃいました。在宅取組型を促しましたが,保護者にノウハウがないことや役員のみとはいえ,計画のために参集することさえためらうなど,特に去年は難しい年となりました。(行政職員)

「家庭教育学級」というと取りかかりにくいイメージがありましたが,朝のスタートプランのような取組が,在宅取組型家庭教育学級だということが理解できました。朝のスタートプラン終了後も,家庭で続けて取り組めるよう計画したいと思いました。(保育園職員)



「教育の原点・教育の出発点は,家庭にある!!」は,すごく心に沁みました。コロナ禍だからこそ,子どもに対して‘しっかり・ゆっくり’向き合う時間を作るべきだと思いました。(小学校保護者)